

MATERIAL SAFETY DATA SHEET

製品安全データシート

ReleaseGen H-15-1N Aerosol

ReleaseGen Manufacturing Co.(製造家)

製造家部分改定 1993 年 5 月 1 日

輸入者部分改定 2009 年 10 月 26 日

本製品安全データシート(MSDS)は、当該品の製造元である米国 ReleaseGen 社製作 MSDS(英文)を弊社にて翻訳したものである。ReleaseGen 社 MSDS は米国および欧州の MSDS 作成指針に基づいて作成されている。＜ ＞部分は本邦に於ける最新 MSDS 作成指針（JISZ 7250:2000 年）及び GHS 指針に基づき弊社が必要と判断し追加記載したものである。

== ReleaseGen S-1N Aerosol ==

第1章 製品

製品名:ReleaseGen S-1N エアゾール

製造会社:ReleaseGen Manufacturing, Inc

輸入者: 極東貿易株式会社 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル7F

Tel:03-3244-3846

第2章 危険物含有

物質	CAS 番号	Pel/Tlv, 調査元	%
プロパン	74-98-6	1000ppm, OSHA	20-25
ブタン	106-97-8	800ppm, ACGIH	10-15
ヘプタン	142-82-5	400ppm, ACGIH	55-65

＜危険有害性の要約＞

GHS 分類

物理化学的危険性: 可燃性エアゾール 区分 1

引火性液体 区分 3

健康に対する有害性: 急性毒性（経口） 区分外

急性毒性（経皮） 区分外

急性毒性（吸入・ガス） 区分外

急性毒性（吸入・蒸気）	区分外
急性毒性（吸入・粉じん・ミスト）	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分2
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分外
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分外
急性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性：水生環境性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外
表示またはシンボル	



注意喚起語：危険

有害性情報：極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
 引火性の高い液体および蒸気
 ミスト・蒸気を吸入すると眠気またはめまいの恐れ
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意事項：

予防策 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 可燃性の液体であり、蒸気は引火、爆発を起こすことがあります。
 火気を近づけないこと。
 静電気による火災が起こる可能性があります。
 換気のよい場所で使用してください。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱後は手をよく洗うこと。

対応策：火災の場合には、適切な消化方法をとること。
 吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息さ

せること。

飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激を生じた場合医師の診断、手当てを受けること。

医師の診断が必要な場合製品容器またはラベルを手元に用意すること。

応急措置をする者の保護 現在のところ有用な情報なし

医師に対する特別注意事項 現在のところ有用な情報なし

保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。

廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に委託する。(不明な場合：購入先に相談の上適切な処理をすること。)

危険有害成分

PRTR 法 非該当

労働安全衛生法第 57 条の 2 通知対象物 ヘプタン、ブタン

毒物劇物取締法 対象物なし

第3章 物理特性

沸点範囲: -42～98℃

缶内圧(21℃): 50 psig

蒸気密度: 1.0 以下

水への溶解度: 微少

比重: 1.0 以下

重量揮発%: 96%

蒸発速度: 1 以上

外観/臭気: 液状/溶剤臭

第4章 反応性データ

安定性: 安定

避けるべき状況: 発火性のある物との接触

危険な重合: 起こらない

危険な分解製品: 不完全燃焼で生まれる一酸化炭素及び二酸化炭素

第5章 火災時データ

可燃性度: 強可燃性(16 CFR 1500.45)

引火点: -1℃以下(噴射剤)

可燃限界:LEL%=1.9 UEL%=15.0

消化方法:二酸化炭素、ドライケミカル消火器、泡、水。

異常火災及び爆発危険:エアゾール缶の破裂の可能性を避ける。

48℃以上の場所での保管をしない。破裂及び焼却を行わない。

特別消化時留意点:当品気化物の床面近くでの蓄積を避ける。(床面近くの気化物の比重は
空気より重い為)

消防士は呼吸器及び防護服を着用。

第6章 身体への影響 緊急・救急療法

推奨暴露指標:400ppm

一義的侵入経路:吸引、皮膚への接触

吸引:高濃度の気相及びミストを吸引した場合、鼻孔・喉の痛み・神経障害を引き起こす可能性がある。

この製品は、肺障害を悪化させる可能性がある。

皮膚への接触:軽度の炎症の原因になりうる。長期もしくは連続的接触は、赤化・タタレ・乾燥肌・
ひび割れの原因になりうる。

目への接触:軽度の炎症の原因になりうる。液体・暴露した気相・ミストに直接接触すると、
刺痛・涙・赤化の原因になりうる。

発癌性:IARC・NTP・OSHA・ACGIH に記載されている発癌性物質は、この製品には含まれていない。

付加的健康危険データ:

内科的注意=高濃度の当該品の暴露を受けると、心臓の不整脈に関係する可能性がある。

エピネフリンなし、その他交感神経刺激薬剤は、当該品にさらされた人に不整脈を
引き起こす可能性がある。

よって不整脈誘発可能性の低いその他薬剤を考慮すること。もし、交感神経刺激薬剤
が投与されたら、心臓不整脈の進行を注視すべきである。

第7章 応急処置

吸引した時:戸外へ運び、必要なら酸素吸入を施す。呼吸困難に陥った時は人口呼吸を行い、
治療を要す。

皮膚に接触:石鹼・水で洗浄。当該品を含んだ衣類を脱がし肌に接触することを避けること。

目に接触:流水で15分以上洗浄のこと。

飲み込んだ時:内科医もしくは毒物管理センターへ迅速に連絡し、患者の状態及び、摂取量により
適切な治療を受けること。

第8章 漏洩、こぼれた場合

当品が漏洩・こぼれた場合:漏洩及びこぼれた場所から火種を排除すること。その場所の風通
しをよくすること。吸着物で拭き取る、洗い流す、バキュームで

吸い取り安全な容器に入れるなどする。決して下水道に流さないこと。
 廃棄物処理方法: 条例・法規に従って処理すること。

第9章 安全な使用

呼吸保護: TLV 値が上昇した場合は、NIOSH 認可の人口呼吸器を着用すること。

換気: 気化量を 400ppm 以下に抑えること。気化物の比重が空気より重い場合、特に床面近くでは十分な換気を行うこと。

防御手袋: 長期接触には耐溶剤性を使用のこと。

眼保護: 安全メガネ・ゴーグルを推薦する。

第10章 管理及び貯蔵の注意

管理及び保管の注意: 49℃以上の場所で保管しないこと。保管場所から火種を排除すること。

D.O.T 輸送分類: 消費者商品

危険クラス: ORM-D

ID 番号: 無し

ラベル表示: 無。カートンは、消費者商品と記載すること。

第11章 特別警告

使用上警告: 火種の近くで使用しないこと。過度に吸引しないこと。体に向けてスプレーしないこと。使用法に従って使用のこと。

第12章 その他法律

日本 :

<消防法> : 第4類第1石油類

<毒物劇物取締法、高圧ガス取締法、船舶安全法、航空法> : 危険等級Ⅱ

<労働安全衛生法> : 第57条の1 名称表示すべき有害物質 (該当なし)
 有機溶剤中毒予防規定 (該当なし)
 第57条の2 第1項 MSDSの対象となる化学物質
 (ヘプタン別表9-527、ブタン9-481)

<廃棄物処理法> : 一般産業廃棄物

<PRTR法> : 第1種指定化学物質 (該当なし)
 第2種指定化学物質 (該当なし)

注意: このデータは、一般的数値を記載しており、製品明細ではありません。

正確性及び完全性の保証はできません。このデータの使用により生じた損失及び損害には一切責任を負いかねます。